

統合xSeriesアダプター、サーバー を利用したWindows統合

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

特記事項

当資料で解説される項目の更に詳細な説明は、製品から提供されるマニュアル、オンラインヘルプ、Web上の情報を参照してください。


当資料は、2003年3月現在のIBMその他の製品情報に基づいて作成されております。この資料に含まれる情報は可能な限り正確を期しておりますが、日本アイ・ビー・エム株式会社による正式なレビューは受けておらず、当資料に記載された内容に関して日本アイ・ビー・エム株式会社および日本アイ・ビー・エム システムズ・エンジニアリング株式会社が何ら保証をするものではありません。したがって、この情報の利用またはこれらの技法の実施はひとえに使用者の責任においてなされるものであり、当資料の内容によって受けたいかなる被害に関して一切の保証をするものではありませんのでご了承ください。

日本アイ・ビー・エム システムズエンジニアリング
システムセンター サーバースystem部

日本アイ・ビー・エム
SWSC (システム&ウェブ・ソリューションセンター)

商標

以下の用語は、アメリカ合衆国、あるいは他国、あるいは両国でのIBM Corporationの商標です:

- AS/400
- AS/400e
- DB2
- IBM
- MQSeries
- Operating System/400
- OS/400
- SanFrancisco
- stylized 
- WebSphere
- 400
- iSeries
- eServer

以下の用語は、アメリカ合衆国、あるいは他国、あるいは両国でのLotus Development社の商標です:

- Domino
- Domino.Doc
- LearningSpace
- Lotus
- QuickPlace
- Sametime

JavaとすべてのJaeをベースとする商標およびロゴは、アメリカ合衆国、他国、あるいは両国のサン・マイクロシステムズ社の商標または登録商標です。

Microsoft Windows, Windows NT, およびWindowsのロゴは、アメリカ合衆国、他国、あるいは両国のマイクロソフト社の商標です。

他の会社、製品、およびサービス名は、その会社の商標あるいはサービスマークかもしれません。

このプレゼンテーションに含まれるサードパーティーに関連する題材は、これらのサードパーティーから得られた情報に基づいています。これらの情報の正確さの確認のため、しかなる努力もなされていません。このプレゼンテーションは、しかなるサードパーティー製品またはサービスの、IBMによる推薦あるいは指示を表したり、ほのめがすものではありません。

(ブランク・ページ)

1. iSeriesとWindowsの統合
2. 統合xSeriesサーバー
3. 統合xSeriesアダプター
4. OS/400 V5R2における機能拡張
5. 情報リンク集
6. 導入事例

(ブランク・ページ)

1. iSeriesとWindowsの統合

この章では、iSeriesとWindowsが並存している環境における、その統合の可能性について紹介していきます。

iSeriesとWindowsの統合

■ iSeriesとWindowsの関係

- ▶ iSeriesのユーザーのうちの83%がWindows Serverを使用している
- ▶ ISV, IBMは数多くのWindowsアプリケーションを提供しており、ユーザーはそれらを利用している
- ▶ ユーザーはiSeriesとWindowsの統合を望んでいる



iSeriesのユーザーの実情は以下のような要因で表されています。

- 83%のiSeriesユーザーがWindowsサーバーを使用している。これは、2001年の第四四半期にIBMの調査で明らかになったことです。ユーザーはかなりのWindows製品を使用しています。
- ISVとIBMは数多くのWindowsアプリケーションを提供しており、それらはOS/400のバックエンドアプリケーションと連携して使用するのにもポピュラーな選択となります。
- ユーザーはサーバーの統合を望んでいます。ホスト、unix、Windows、Seriesのユーザーは、TCOコストの抑制、可用性の向上を主目的としてそれらの統合を目指しています。iSeriesとWindowsの統合はその一環となります。

Windows統合の方法

- iSeriesに統合xSeriesサーバーカードを導入すると
 - ▶ iSeries上でWindowsアプリケーションが稼動可能に
 - ▶ iSeries側から管理を実施
 - 起動、終了
 - 記憶域管理
 - ユーザー管理
- 2つのハードウェア
 - ▶ 統合xSeriesサーバー
 - iSeries上のPCIカードでWindows Serverを稼動させる
 - ▶ 統合xSeriesアダプター
 - 外部のxSeriesサーバーとiSeriesをHSLケーブルで接続

iSeriesでは、iSeries上のリソースを使用してWindows Serverを稼動させることができます。iSeries上では、複数のWindows Serverを稼動させることができるので、複数のPC上で複数のWindows Serverを稼動しているような場合には、それをiSeries上に"統合"することができます。

さらに、iSeries上で稼動するWindows Serverに対して、OS/400側から以下のような管理を実施することも可能です。

- 起動、終了
 - Windows Serverのオン/オフ(電源管理)を行います
- 記憶域管理
 - Windows Serverの使用する記憶域の管理を行います。(例. 新たな記憶域の追加)
- ユーザー管理
 - Windows Serverのユーザ-の管理を行います。OS/400側のユーザ-プロフィールとの結びつけが可能です。

Windows統合を実施するには、以下の2通りの方法があります。

- 統合xSeriesサーバー
 - iSeries上のPCIカードでWindows Serverを稼動させます
- 統合xSeriesアダプター
 - xSeriesサーバーとiSeriesを接続します

2. 統合xSeriesサーバー

この章では、統合xSeriesサーバーの概要とその稼働方法について紹介していきます。

統合xSeriesサーバー

■ 統合xSeriesサーバーとは?

- ▶ CPUとメモリのついたPCIカード (Series筐体内に導入する)
- ▶ 最新版は1.6GHz Intel Xeonプロセッサ-を搭載
 - #2792/#2892
- ▶ 最大4GBまでのメモリ
- ▶ 最大3つまでのLANアダプタをアサイン可能
- ▶ iSeriesのCD-ROM、テープ装置を共用可能
- ▶ Microsoft社に認定されたハードウェア
- ▶ 稼動可能なOS
 - Microsoft Windows 2000 Server
 - Microsoft Windows 2000 Advanced Server



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

統合xSeriesサーバーはCPUとメモリのついたPCIカードのことで、Seriesに装着されます。 以下のような特徴を持っています。

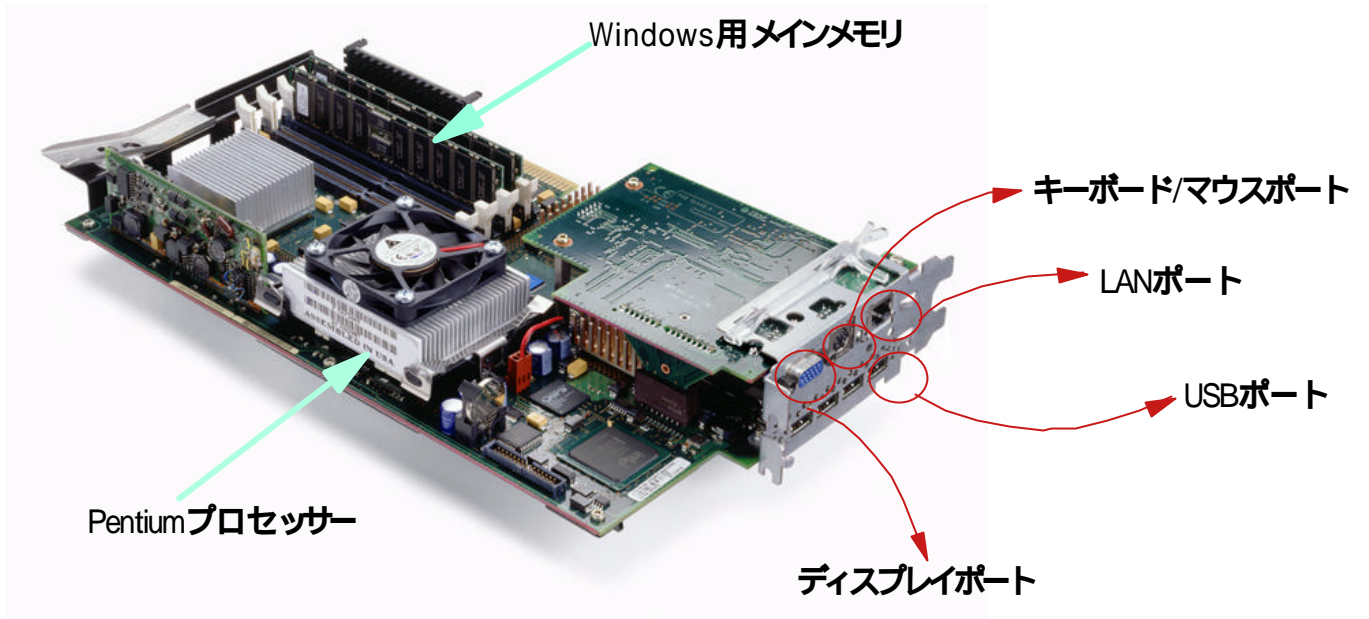
- 最新版は 1.6GHz Intel Xeonプロセッサ-を搭載(#2792/#2892)
 - #2792 8xxモデル, #2892 270モデル
 - 512KB L2キャッシュ内蔵
- 最大4GBまでのメモリを搭載可能
- 最大3つまでのLANアダプタをサポート可能
 - 100/10Mbps Ethernet アダプターを1つ内蔵
 - 追加は 100Mbps トークンリングアダプター/ 1Gbps イーサネットアダプター/ 1Gbps イーサネット UTP アダプター から選択
 - OS/400の機能から#2792/#2892のサポートするLANアダプター機能は使用できません
- iSeriesのCD-ROM、テープ装置を共用可能
 - Windows Server側からiSeriesのリソースを使用
 - テープ装置を利用しての大容量のバックアップリカバリーが可能
- Microsoft社に認定されたハードウェア
- 稼動可能なOS
 - Microsoft Windows 2000 Server
 - Microsoft Windows 2000 Advanced Server

iSeries モデル	搭載可能iXS数
270	3
800	4
810	13
820	12
825	36
830	28
840	32
870	48
890	48
SB2	2
SB3	2

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

統合xSeriesサーバー(写真)



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

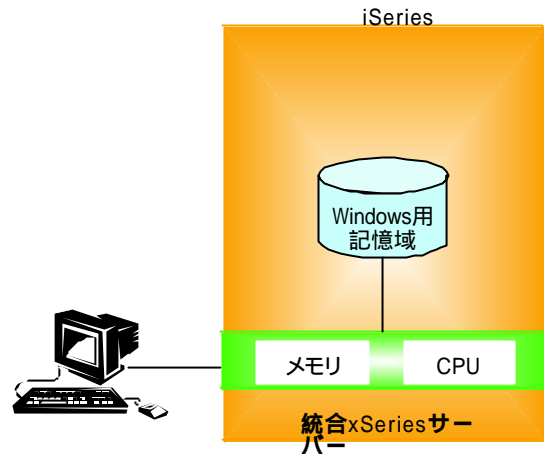
© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

統合xSeriesサーバーでのWindowsの稼動

- 前提条件 (#2792/#2892)
 - ▶ iSeries
 - モデル270及び8xx
 - ▶ OS/400
 - V5R2以降
 - ▶ ソフトウェア
 - OS/400 Windowsサーバー統合機能
 - 5722-WSV(無料フィーチャー)

稼動の仕組み

- ▶ Windows用記憶域はiSeriesが提供
- ▶ 以下は統合xSeriesサーバーに直接接続
 - ディスプレー, キーボード, マウス



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

統合xSeriesサーバー(#2792/#2892)でMicrosoft Windows Serverを稼動させるための前提条件は以下のとおりです。

- iSeries
 - モデル270及び8xx
- OS/400
 - V5R2 以降 (必要なPTFについてはInformation APAR J113362 を参照)
- ソフトウェア
 - OS/400 Windowsサーバー統合機能(5769-WSV)。これは無料フィーチャーです。

統合xSeriesサーバー上でWindows Serverを稼動させる仕組みは以下のようになっています。

- Windows Server用記憶域はiSeriesが提供します
- CPU、メモリは統合xSeriesサーバー上のものを使用します
- 以下は統合xSeriesサーバーに直接接続します。(接続用ポートがあります)
 - ディスプレー
 - キーボード
 - マウス

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

構成方法

■ 構成の流れ

▶ INSWNTSVRコマンドの実行

- 以下の作業を自動的に実施

- NWSD(ネットワークサーバー記述)の作成
- NWSSTG(ネットワークサーバー記憶域)の作成
- Windows Serverのインストール
- Windowsの使用するIPアドレスの割り振り

▶ 構成後、Windows Serverが使用可能に

WINDOWS サーバーの導入 (INSWNTSVR)

選択項目を入力して、実行キーを押してください

```

ネットワーク・サーバー記述 ...> WIN2KXS   名前
導入タイプ .....> *FULL   *FULL, *BASIC
資源名 .....> LIN10   名前
ドメインの役割 .....> *SERVER   *DMNCTL, *BKUCTL, *SERVER
WINDOWS サーバー・バージョン ...> *WIN2000   *NT40, *WIN2000
WINDOWS ソース・ディレクトリ ..... *DFT
    
```

統合xSeriesサーバーの構成は、INSWNTSVRコマンドで実施されます。このコマンドの実施により、以下の作業を自動的に行ってくれます。

- NWSD(ネットワークサーバー記述)の作成
- NWSSTG(ネットワークサーバー記憶域)の作成
- Windows Serverのインストール
- Windowsの使用するIPアドレスの割り振り
 - 内部LANアドレスと外部LANアドレス

このコマンドが実行された後、Windows Serverが使用可能となります。

管理方法

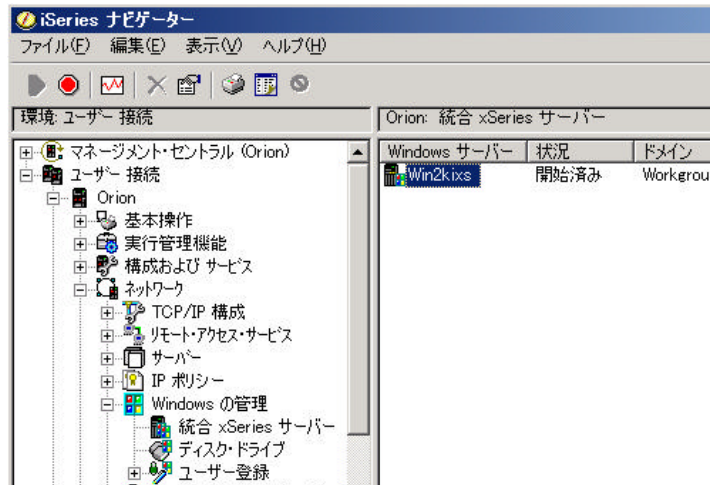
■ 管理方法

▶ 5250画面

- Windows Serverの起動、終了
- 記憶域管理

▶ iSeriesナビゲーター

- 5250と同様の管理
- ユーザーの管理も可能
 - Windows上のユーザー
- グラフィカル・インターフェイス



統合xSeriesサーバーを管理する方法としては、5250画面を介する方法とSeriesナビゲーターを使用する方法があります。5250画面経由の場合、Windows Serverの起動、終了と記憶域管理が行えます。Seriesナビゲーターを使用すると、5250画面を介して行う管理に加え、Windowsユーザーの管理も行うことができます。これは、Series上のユーザープロフィールを、Windows上の伝播させる方法をとることになります。これらの管理が、全てグラフィカル・インターフェイスで行われます。

3. 統合xSeriesアダプター

この章では、統合xSeriesアダプターの概要とその移動方法について紹介していきます。

統合xSeriesアダプター

■ 統合xSeriesアダプターとは?

- ▶ xSeries(Netfinity)サーバーをiSeriesに接続するためのPCIアダプター
 - xSeries(Netfinity)サーバーに装着
- ▶ iSeriesへはHSL(ハイ・スピード・リンク)により接続
- ▶ 最大60台のxSeries(Netfinity)サーバーを接続可能
- ▶ iSeriesのCD-ROM、テープ装置を共用可能
- ▶ 稼動可能なOS
 - Microsoft Windows 2000 Server
 - Microsoft Windows 2000 Advanced Server

統合xSeriesアダプターは以下の特徴を持っています。

- xSeries(Netfinity)サーバーをiSeriesに接続するためのPCIアダプター
- iSeriesへはHSL(ハイ・スピード・リンク)により接続
 - HSLケーブルとSPCNケーブルで接続します
- 最大60台のxSeries(Netfinity)サーバーを接続可能
 - 840/870/890モデルの場合
- iSeriesのCD-ROM、テープ装置を共用可能
 - 統合xSeriesサーバーと同様です
- 稼動可能なOS
 - Windows 2000 Server
 - Windows 2000 Advanced Server
 - Windows NT Serverは不可
- 統合xSeriesサーバーよりも高性能のCPUが使用可能です
 - n-wayなど

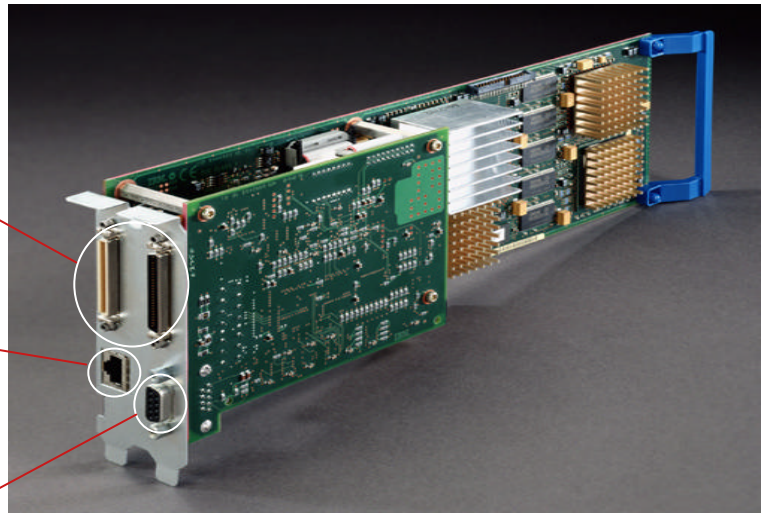
iSeries モデル	搭載可能xA数
270	2
800	3
810	7
820	8
825	18
830	16
840	60
870	60
890	60

統合xSeriesアダプター(写真)

HSL コネクタ
xSeriesへ

RJ45 コネクタ

SPCN コネクタ



統合xSeriesアダプター使用の前提

■ 前提条件

▶ iSeries

- モデル270及び8xx

▶ OS/400

- V5R1以降(2003/01発表のiSeriesモデルはV5R2以降)

▶ ソフトウェア

- OS/400 Windowsサーバー統合機能
 - 5722-WSV(無料フィーチャー)

▶ xSeries(Netfinity)

- xSeries x235,x255,x360,x440
- 販売停止モデル:x250,x350,Netfinity 7100,Netfinity 7600
- ディスクを装着していないこと
 - CPUとメモリのみが使用される
- 最新サポートモデルは以下のサイトを参照
 - <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/windowsintegration/xseriesmodels/>



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

以下は、統合xSeriesアダプターを使用するための前提条件です。

iSeries

- モデル270及び8xx
- OS/400はV5R1以降(2003/01発表のiSeriesはV5R2以降)
- ソフトウェアはOS/400 Windowsサーバー統合機能(5722-WSV)が必要(無料フィーチャー)

xSeries

- xSeries モデル235,255,360,440に統合xSeriesアダプターを装着可能です。これは現在購入可能なモデルのみを挙げており、すでに購入不可な既存モデルとしては、Netfinity モデル7100, 7600、xSeries モデル250, 350があります。
- これらにSalesサーバーにはディスクが装着されていないことが前提となります。ディスクはSalesの記憶域を利用するためです。ディスクが装着されているものは、統合xSeriesアダプターを使用してWindows 2000 Serverを導入・構成する前に外しておく必要があります。
- 現在サポートされているxSeriesサーバーのモデルは、<http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/windowsintegration/xseriesmodels/> のサイトで確認してください。

xSeries Models Supported	Model Number	Number of Processors	Speed of Processor	Notes
2345	8887-1RX	2-8	1.4 GHz	See notes
2345	8887-2RX	2-8	1.5 GHz	See notes
2345	8887-3RX	2-8	1.8 GHz	See notes

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

統合xSeriesアダプターのメリット

- 統合xSeriesアダプターを選択することのメリット
 - ▶ 拡張性
 - さらに大きなワークロードとユーザー数をサポート可能
 - ▶ PCIスロットが使用可能
 - デバイスの装着が可能に
 - モデムなど
 - ▶ 最新のテクノロジー
 - 最新のxSeriesサーバーモデルが選択可能



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

統合xSeriesアダプターを選択することで、統合xSeriesサーバーを選択した場合と比較して、以下に挙げるようなメリットが考えられます。

- 拡張性
 - 統合xSeriesアダプターは最大8CPUを持つxSeriesサーバーをサポートします。統合xSeriesサーバーでは、1つのCPUしかありません。これにより統合xSeriesサーバーと比較してより大きなワークロードとユーザー数をサポートすることが可能となります。
- PCIスロットが使用可能
 - 統合xSeriesアダプターで接続するxSeriesサーバーは、普通のxSeriesサーバーなので、そのPCIスロットを使用することができます。統合xSeriesサーバーには専用のPCIスロットはありません。(LANアダプター用のスロットを除く) このPCIスロットを、モデムなどに使用することができます。
- 最新のテクノロジー
 - 統合xSeriesアダプターは普通のxSeriesサーバーに接続されます。これらのモデルは高速で複数のCPUを備えています。IBMが新しいxSeriesサーバーを発表するたび、ロチェスターではそれらを統合xSeriesアダプターとテストし、新規モデルサポートの発表を行います。

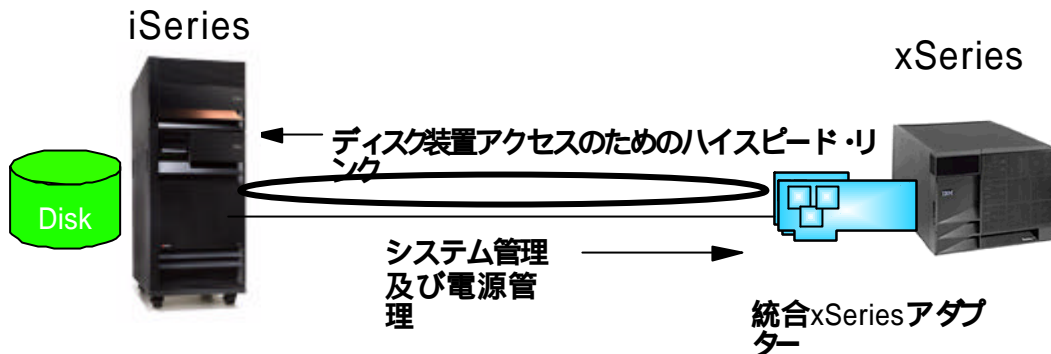
The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

統合xSeriesアダプターでの稼働の仕組み

■ 稼働の仕組み

- ▶ OS/400の記憶域統合機能とシステム管理機能を使用
- ▶ 管理方法は基本的に統合xSeriesサーバーの場合と同じ



統合xSeriesアダプター上でWindows Serverが稼働する仕組みです。CPUとメモリのみがxSeries上にあり、記憶域はSeries上にある形となります。接続形態は統合xSeriesサーバーとは異なりますが、その接続後の導入、構成、管理方法は、基本的に統合xSeriesサーバーを使用する場合と同じです。

4. OS/400 V5R2における機能拡張

この章では、統合xSeriesアダプター、サーバーに関して、OS/400 V5R2においてなされた機能拡張について紹介します。

OS/400 V5R2における機能拡張

■ 機能拡張の概要

- ▶ 仮想Ethernet LANサポート
- ▶ Microsoft クラスタリング サービスのサポート
- ▶ iSeriesナビゲーターにおける拡張
- ▶ その他
 - 自動カードリッジローダー(ACL)



ここでは、OS/400 V5R2において機能拡張された点についてまとめて紹介します。

- 仮想EthernetLANサポート
- Microsoft クラスタリング サービスのサポート
- iSeriesナビゲーターにおける拡張

これらの拡張については、この後で詳細について解説します。

その他の拡張としては、以下のものがあります。

- 自動カードリッジローダー(ACL)
 - Windowsのバックアップ・ユーティリティにSeriesの自動カードリッジローダーを使用できます
 - 3570, 3580, 3590がサポートされます
 - 統合xSeriesアダプター、サーバーいずれでも使用可能です

仮想Ethernet LANサポート

- 仮想Ethernet LAN通信
 - ▶ LANアダプタなしに1Gbpsの通信が可能
 - パフォーマンス向上
- 2種類の仮想LAN
 - ▶ point to point
 - OS/400とWindowsの2地点のみを接続
 - 1つのWindowsにつき 1つのみ
 - ▶ internal
 - iSeries上のLPARパーティション間の仮想LANに参加
 - 他のパーティションとの通信が可能
 - OS/400, Linux, Windows
 - 1つのWindowsにつき10回線まで

OS/400 V5R2より Windows上での仮想Ethernet LANのサポートがなされています。これは、仮想のEthernet アダプタを使用して、1Gbpsの通信を可能にするものです。これにより、Windowsを介した通信速度がV5R1以前と比較して向上します。V5R1以前では、OS/400とWindows間の通信速度は、16Mbpsでした。

仮想Ethernet LANには、2種類の形式があります。

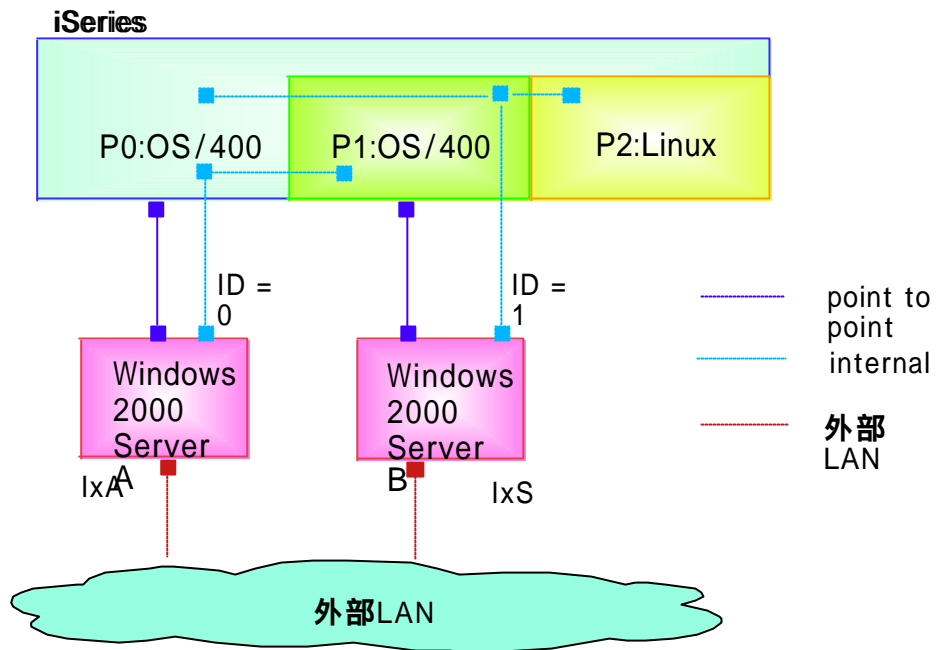
- point to point
- internal

"point to point"は、従来(OS/400 V5R1まで)のWindows統合機能における、内部LAN(*INTERNAL)にあたります。これはネットワークサーバー記述を構成しているOS/400と、そこで構成されたWindowsの2地点のみを結ぶLANです。それ以外のポートからの接続はできません。

"internal"は、OS/400とWindowsの2地点間だけでなく、iSeries上におけるLinuxを含むLPARパーティション間、それから同じSeries上に構成された他のWindowsの間との通信を可能にします。

この"internal"は、1つのWindows上につき、10(D.0~9)までの回線がサポートされます。これは、Series上のLPAR構成における、仮想Ethernet LANのID(0~15)に相当します。Windows上における10~15の回線はLPAR機能によって予約されています。

仮想EthernetLANの構成例



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

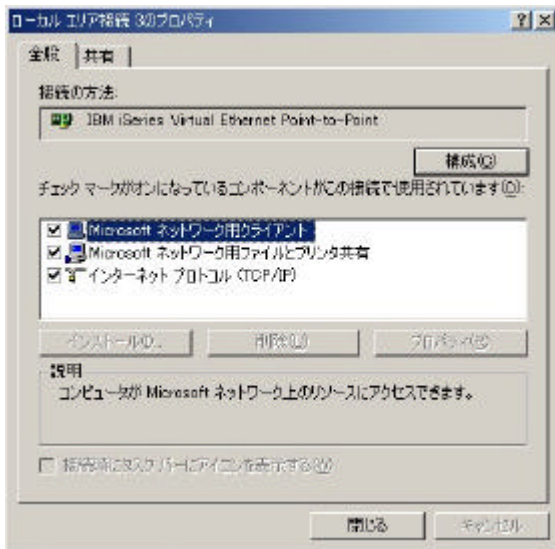
この図は、Linuxパーティションを含むLPAR構成をしているiSeries上で、"point to point", "internal"の両方の構成を行った場合の構成例を表しています。
 P0,P1のそれぞれのOS/400パーティションで1つずつWindows 2000 Serverを構成し、それぞれのOS/400とWindowsは、別個のpoint to pointの仮想EthernetLANで接続されています。
 またinternal LANは、ID = 0, 1の2種類のセグメントの仮想EthernetLANで接続されています。この構成の場合、ID = 0のセグメントの仮想EthernetLANでは、Windows A, P0, P1が接続され、ID = 1のセグメントの仮想EthernetLANでは、Windows B, P0, P1, P2が接続されています。この2つのネットワークはそれぞれ独立していることになります。

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

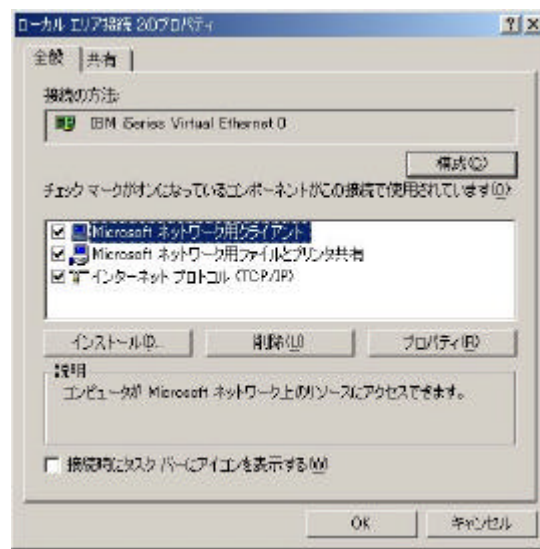
© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

Windows上の仮想EthernetLAN

point to point



internal



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co., Ltd.

この画面は、統合xSeriesアダプターまたはサーバー上で、Windows 2000 Serverを構成し、point to pointとinternal (ID=0)を構成した場合に、Windows上で、仮想EthernetLANアダプタがどのように認識されるかを表しています。また、以下はWindows上での、ipconfigコマンド実行結果画面です。

```

Microsoft Windows 2000 [Version 5.00.2195]
(C) Copyright 1985-1999 Microsoft Corp.

C:>ipconfig

Windows 2000 IP Configuration

Token Ring adapter ローカル エリア接続
    Media State . . . . . : Cable
    Disconnected

Ethernet adapter ローカル エリア接続 2
    Connection-specific DNS Suffix . :
    IP Address. . . . . : 10.1.1.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . :

Ethernet adapter ローカル エリア接続 3
    Connection-specific DNS Suffix . :
    IP Address. . . . . : 192.168.10.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . :
    
```

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co., Ltd.

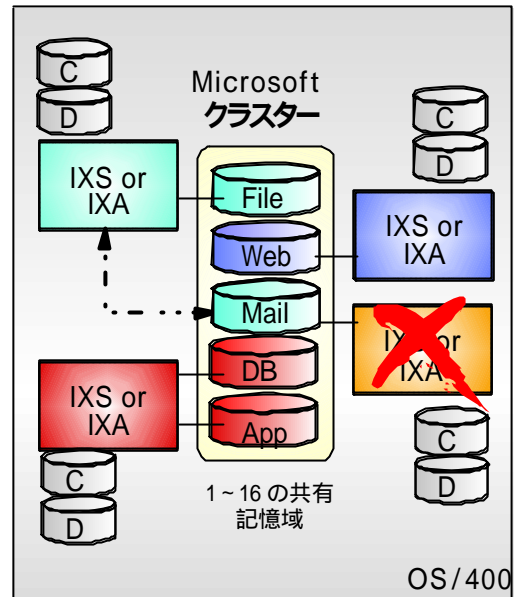
Microsoft クラスタリング サービスのサポート

■ スイッチディスク クラスタ

- ▶ Windows間で記憶域を動的にスイッチ
- ▶ サーバー ノードごとに最大4つのIXAまたはIXSをサポート
- ▶ 16個までの共有記憶域をサポート
- ▶ 計画・不測の停止に対応

■ 前提条件

- ▶ Windows 2000 Advanced Server
2ノードサポート
- ▶ Microsoft .Net Enterprise
4ノードサポート



iSeries Windows統合機能は、Microsoft クラスタリング サービスのサポートをOS/400 V5R2から行っています。

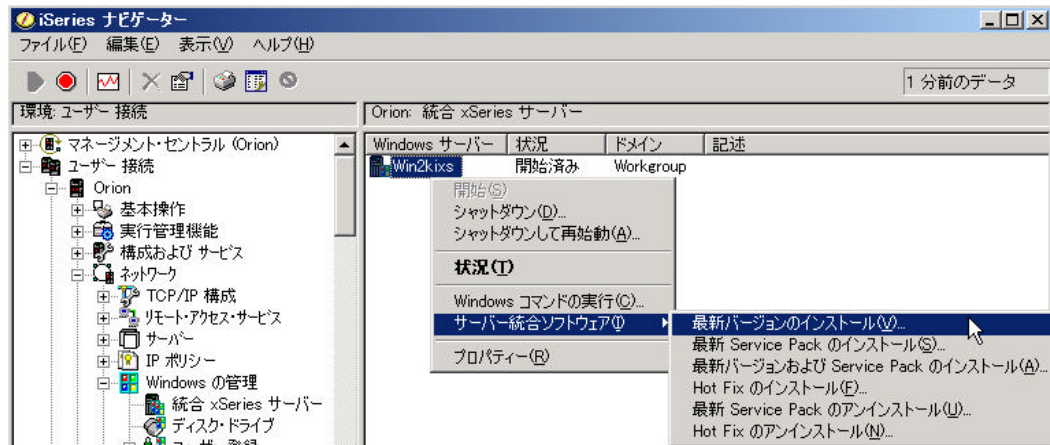
Microsoft クラスタリング サービスは、複数台の統合xSeriesアダプターまたは統合xSeriesサーバーを使用してクラスタを構成し、16個までの共有記憶域を利用します。(SeriesはLPARの1区画内のみの構成になります)
クラスタ環境内では、その中で1つのWindowsで計画または不測の停止があった場合、記憶域が別のWindowsに切り替えられ、システム停止時間を短縮するため、アプリケーションが自動的に再起動されます。

前提条件

Windows 2000 Advanced Serverを使用 2ノードでのクラスタリング
Microsoft .Net Enterprise Serverを使用 4ノードでのクラスタリング

iSeriesナビゲーターにおける拡張

- 管理機能の追加
 - ▶ コマンドの実行
 - ▶ サーバー統合ソフトウェアの管理



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co., Ltd.

iSeriesナビゲーターで行う、Windowsの管理機能にも拡張がなされています。

コマンドの実行は、iSeriesナビゲーターのインターフェイスからWindowsコマンドを実行するものです。5250インターフェイスにおけるSBMNWSCMDコマンドと同様です。

サーバー統合ソフトウェアの管理は、これまでWindowsのコンソール上でしか行えなかった、サーバー統合ソフトウェアに関する以下の作業が、iSeriesナビゲーターのインターフェイスから行えます。

- サーバー統合ソフトウェア最新版のインストール
- サービスパックのインストール、アンインストール
- HotFixのインストール、アンインストール

The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co., Ltd.

5. 情報リンク集

ここでは、ドキュメントやWebサイトのリンクなどといった、この資料に関する情報の参照先を紹介します。

Windows統合関連情報リンク

■ 関連情報

- ▶ Windows integration on iSeries
 - <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/windowsintegration>
- ▶ IBM Redbooks
 - <http://www.redbooks.ibm.com>
 - "Consolidating Windows 2000 Servers in iSeries: An Implementation Guide for the IBM Integrated xSeries Server for iSeries" (SG24-6056)
 - <http://www.redbooks.ibm.com/pubs/pdfs/redbooks/sg246056.pdf>
 - "Direct Attach xSeries for the IBM iSeries Server: A Guide to Implementing xSeries Servers in iSeries" (SG24-6222)
 - <http://www.redbooks.ibm.com/pubs/pdfs/redbooks/sg246222.pdf>

- - ▶ インフォメーションセンター
 - <http://publib.boulder.ibm.com/series/v5r2/ic2962/index.htm>
 - ▶ 統合xSeriesアダプター総合サイト(英文)
 - <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/windowsintegration>
 - ▶ 統合xSeriesアダプターサポートサーバ(英文)
 - <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/windowsintegration/daxs.html>
 - ▶ PTF情報
 - <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/windowsintegration/ntsrvc.htm>
 - ▶ Redbook "Direct Attach xSeries for the IBM iSeries Server: A Guide to Implementing xSeries Servers in iSeries" (英文)
 - <http://w3.itso.ibm.com/itsoapps/Redbooks.nsf/RedbookAbstracts/sg246222.html?Open>
 - ▶ PCI Card Installation Instructions (英文)
 - <http://www-1.ibm.com/servers/eserver/series/windowsintegration/pdf/instadapter.pdf>
 - ▶ HSL Information (英文)
 - http://publib.boulder.ibm.com/pubs/html/as400/v5r1/ic2924/info/phyplan/cables/hsl_info.htm
 - ▶ High Speed Link (HSL) Installation Instruction (英文)
 - <http://publib.boulder.ibm.com/pubs/html/as400/v5r1/ic2924/v5r1hwpdf/pdf/eng14601.pdf>
 - ▶ マニュアル"ネットワーキング iSeries Windows server"
 - <http://publib.boulder.ibm.com/pubs/html/as400/v5r1/ic2962/info/rzahq/rzahq000.pdf>

6. 導入事例

ここでは、Windows Integrationソリューションが実際に導入されたお客様の事例を紹介します。

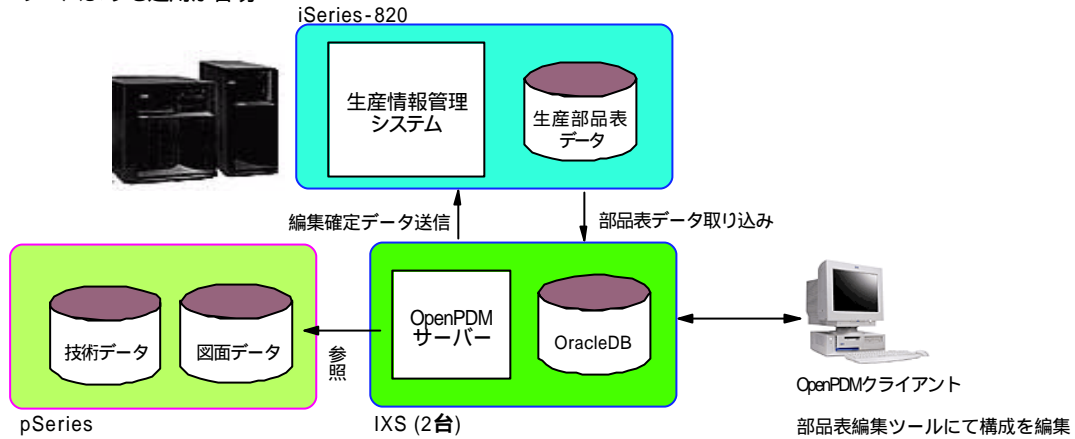
導入事例 1 (製造業)

■ 導入の経緯

- ▶ このお客様では、開発および製造のためのシステムが別々に構築されており両者のリンクが取れていない状態であったため、OpenPDM (部品票管理アプリケーション)とOracleをソリューションとしてそれらバラバラのシステムのリンクをとるシステムを構築し、さらにそのシステムをIXS上で稼働させることをご提案し、導入に至りました。(現在システム構築中)

■ IXSを選択した理由

- ▶ IAサーバにしかない (Seriesには無い) ソリューションを取り込むことが可能
- ▶ 単体のIAサーバよりも運用が容易



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

導入事例 2 (ASP事業)

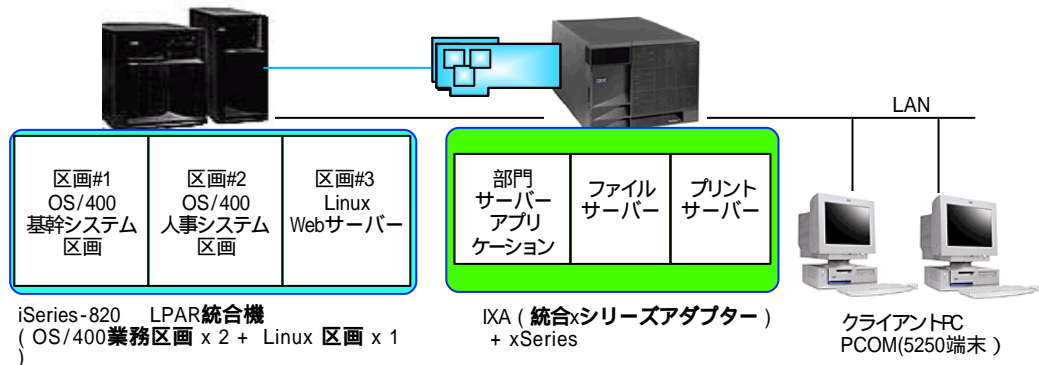
■ 導入の経緯

- ▶ このお客様では、PCOM+専用回線によるASPサービスを提供していましたが、これをGUIを利用したアプリケーションに切り替える際、既存にあったPCのパッケージソフトをIXAに移植して新サービスとして開始されました。

■ IXAを選択した理由

- ▶ PCサーバでは安定稼働の観点で問題があるというお客様の判断による

IXA導入後の構成



The next generation iSeries... simplicity in an on demand world

© 2003 IBM Japan Systems Engineering Co.,Ltd.

導入事例 3 (健康ランド)

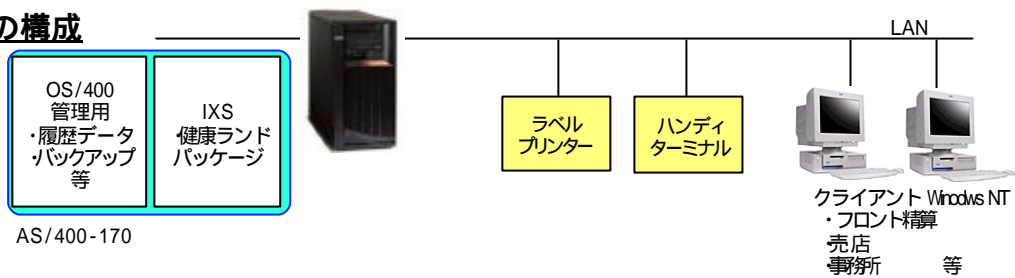
■ 導入の経緯

- ▶ このお客様では、従来他社PC製パッケージを使用していたが、旧式化、新業務への対応の問題で新たにシステムを導入する事を決定した。
- ▶ お客様はSeriesの信頼性、安定性を聞き及んでおり、是非ともiSeriesをプラットフォームとして採用したい、という意向があった。一方、健康ランド向けに実績・定評のあるパッケージとしてWindowsで稼動するパッケージの採用を検討していた。両者を使用可能な案としてIXSの採用を決定した。
- ▶ システム稼動時間はAM04:00～02:00(22時間)で265日稼動。WindowsのIPLは毎日、OS/400のIPLは年1、2回程度
- ▶ 導入は1999年だが、システムクラッシュや障害による停止は一度も無し。同じパッケージのPCでの稼動実績と比較してはるかに安定した実績を残している。

■ IXSを選択した理由

- ▶ iSeriesの評判(安定性、拡張性)で自社に最適な業務パッケージを使用するため。
- ▶ 業務時間 2 2時間、265日の安定稼動をPCでは満たせないと判断したため。

IXS導入後の構成



導入事例 4 (宝飾業)

■ 導入の経緯

- ▶ このお客様では、現在Windowsでノーツサーバー2台を稼動中であるが、ハードウェアに依存すると思われる障害が度々発生していた。
- ▶ 一方このお客様ではAS/400, iSeriesを基幹業務用に10年間以上使用しているが、システム障害は一度しか発生していない。このため、安定したSeriesハードウェアでノーツサーバーを稼動させたい、という要望があり、IXSの導入を決定した。

■ IXSを選択した理由

- ▶ PCサーバーでは安定稼動の観点で問題があるというお客様の判断による

IXS導入後の構成

